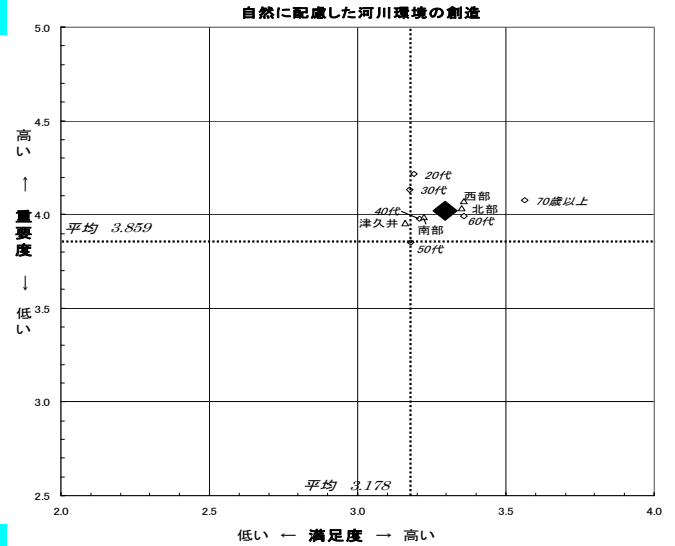


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.294で121施策の中で28番目。
 ○重要度は4.019で39番目である。
 ○改善要望度は0.0307で53番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30代で最も低くなっている。重要度は20代で最も高く、50代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	④ 2 1	④ 2 1	
合計		8		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	平成18年、国において多自然川づくり基本指針が策定され、川づくりを多自然で行うことになったことにより、各河川ごとの多自然川づくりの考え方を整理する必要がある。またそれに伴う財源の確保が必要となる。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性を考慮し、市民協働等を視野に入れた河川ごとの整備を行う。 国、県からの補助金の確保を図る。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

解決策にある「市民協働を視野に入れた」とは何かを具体的に記入すること。	3次評価 A
-------------------------------------	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込(事業費)	H20予算(事業費)	H21見込額(事業費)	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員(人)	H17決算額(事業費)
河川整備課	一級河川鳩川・道保川改修事業(再)	227,870	101,000	101,000	1	1	1.84	136,037
下水道管理課	雨水浸透施設設置助成事業(再)					2	0.01	791
みどり対策課	緑地等維持管理費					再	0.02	5,048
河川整備課	準用河川姥川改修事業	66,014	72,600	72,600	1			
河川整備課	準用河川八瀬川改修事業	135,067	50,800	50,800	1			
		428,951	224,400	224,400			1.87	141,876

22210

単位:千円

H17合計
(人件費含む)

150,849

~~872~~

~~5,209~~

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

156,930